

## **Background and Methods ;**

The survival rate of the patients with hepatocellular carcinoma (HCC) is poor in spite of the advances in treatment.

However, some recent randomized controlled trials have suggested that interferon (IFN) therapy decreases recurrence after resection of hepatitis C virus-related HCC (HCV-related HCC).

In a decision analysis, we compared the liver transplantation strategy, the resection plus IFN therapy strategy and the resection strategy for HCV-related HCC in terms of quality-adjusted life years (QALYs) by using a Markov decision analysis model.

## **Results ;**

In a base case analysis, the QALYs of each strategy was 3.19-4.24 (the liver transplantation strategy), 2.45-3.06 (Complete response group after the resection plus IFN therapy strategy), 1.61-1.83 (Non-response group after the resection plus IFN therapy strategy), 1.40-1.55 (the resection strategy), respectively.

For the liver transplantation strategy to be preferred, the annual recurrence rate of HCC from cirrhosis in the complete response group after the resection plus IFN therapy strategy had to be more than 8 % in a sensitivity analysis.

However, the annual recurrence rate of HCC from cirrhosis is reported to be 0-12.7% in some recent randomized controlled trials.

## **Conclusions ;**

The liver transplantation for HCV- related HCC is not always the first choice of treatment in the current data. For the treatment of HCV-related HCC, the resection plus IFN therapy is compatible with liver transplantation.

## **<Key Words>**

Hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma, Liver transplantation, Resection plus IFN therapy, Resection therapy, QALYs (Quality-Adjusted Life Years), Health decision analysis.

### その3 地域における慢性疾患通院患者の健康効用値調査

概要；健康効用値が理論的に妥当であるためには、実際のフィールド調査で質問票を使用して得られた効用値と個人属性との相関性が、理論的に妥当であることが必要になる。平成10年度は大動脈瘤患者の手術前後での調査を行い、臨床指標を個人属性としてその相関をみた。その結果、必ずしも、臨床的な疾病重篤度と健康効用値とが相関性の高いものではないことが示された。これは健康効用値を健康量の近似値とするには多少無理がある、若しく計量心理学的手法に基づく健康効用値は、そもそも病態生理に立脚した疾病重篤度とは相関関係は仮説以上に多元的なのではないかとの考察がなされた。従って仮に健康政策や医療行為などの評価指標として用いる場合には、健康効用値が黄金律として包括的なアウトカムアセスメント指標として独歩するのは危険で、評価尺度としての健康効用値の使用は、状況に応じて臨機応変な解釈が必要ではないかと考えられた。

平成11年度は地域の健常集団4000人規模を対象に、健康効用値と個人属性との相関が検討された。その結果、加齢による変化や病態生理に応じたシングルスコアの変化が検出でき、Construct validity が立証された。当初の、HUI 開発グループとのコンセンサスでは、国民を代表する Community 集団での大規模調査により、更に明確な Construct Validity の証明を以って、健常集団に対しても判別妥当性 (Discriminative Validity) の証明が必要であるとの旨であった。また、日本人の価値観を反映させた Scoring Function の検討が課せられていた。しかしながら後者の検討は972000通りもの組み合わせのある HUI で決定される健康状態のシナリオから任意抽出して、それに対して SG (Standard Gamble 法) や TTO (Time Trade Off 法) で価値付けする方法論に期間的な面とマンパワーの面で無理があったため、小規模研究に留めるものとした。

地域における慢性疾患通院患者を対象とした健康効用値の調査の目的は、本年研究その1の地域在住健常高齢者を対象とした健康効用値調査と同様、HUI と EQ5D とによる健康効用値を同時測定し、国民生活基礎調査の健康小票の質問事項とを同時測定している。こ

ういった集団を対象として調査を行うことは、厚生科学研究事業 3 年の中で次のような意義がある。

すなわち、地域在住の（在宅）患者で、ほぼADL（Ability of Daily Life）が通常レベルに保たれていると想像され、かつ罹患している慢性疾患が把握されている通院患者は、健康集団を対象とした Community Survey においても対象群に入る人々であり、しかも何らかの健康障害を持つ事により、通院という日常生活環境内での Burden をもっている。従って、Community Survey においても、最も健康効用値の低減の境界域に属する人々であることが想像され、それ故に、2000 名規模の対象集団で調査を行えば、全く健康障害のない若い世代群を含む地域人口調査のエッセンス的なサンプルであることが期待でき、HUI 健康効用値の Discriminative Validity がより顕著に検出されると期待される。

また、わが国における非常に大規模な健康調査である国民生活基礎調査の質問票事項を同時測定することにより、国民生活基礎調査の健康小票との関連性が示唆され得る。これは、健康に関する個人属性の Golden Standard を用いたことで、他の疫学的なデータと融通・善用しあうことが期待できる。

現在、S 県 Y 市にて調査を施行中である。データ解析が終了次第追加報告するものとする。次ページ以下に研究プロトコールを付記する。

## 1. 実施計画

### 1.1. 目的

慢性疾患による通院患者の、臨床背景別の QOL を調査する。  
健康効用値を HUI (Health Utilities Index) および EQ5D の 2 方法を用いて調査し、相関を分析する。更に臨床背景別の解析をする。

### 1.2. 研究デザイン

Cross-sectional community survey

### 1.3. 対象者

入所者を除く地域通院患者

#### 1.3.1. 選択基準

(1) 定期的な通院を要する慢性疾患をひとつ以上持ち、調査医療機関で加療中の者。EX

- ① 高血圧
- ② 糖尿病
- ③ 消化器疾患
- ④ 神経疾患
- ⑤ 感覚器障害（白内障等）
- ⑥ その他

(2) 本調査の趣旨を説明し、調査票自己記入回答の協力が得られる者

#### 1.3.2. 除外基準

- (1) 痴呆等により自発的意思をアンケートに反映できない者
- (2) 感冒、発作性眩暈、急性胃炎などの急性疾患の急性期症状により通院した者
- (3) 入院（入所）中患者の一時的帰宅など、在宅患者でない者

### 1.4. 調査時期

第 1 回調査を 2001 年 7 月～2001 年 8 月に行う。調査票の配布を各調査医療機関で約 2 週間行い、回収をその 2～4 週間後に行う。対象患者さんを登録者名簿として、各調査医療機関で合意が得られれば第 2 回調査（6 ヶ月後：2002 年 1 月～2002 年 2 月）を行う。

### 1.5. 調査内容

(1) 患者さんの臨床背景調査

下記の臨床背景指標について患者さんに自覚症状などを記入していただく。

- ・ 国民生活基礎調査健康小票の質問項目

(2) 健康効用値算出指標（QOL調査）

下記の質問票について患者さんに自己記入していただく。

HUI 日本語版質問票

EQ5D 日本語版質問票

\* 上記(1)(2)は質問票セットの冊子にまとまっています。

(3) 臨床背景に関する客観的情報

1) 通院の理由となる疾患名（医師記入）

複数の場合は現在直接の通院理由となっている病名を2つ

\* 但し、必要な場合のみ質問票回収後に調査します。

1.6. 調査方法（QOL調査業務フロー参照）

1.6.1. 同意

調査医療機関担当医師は、調査票内容患者さんに説明し、協力を求める。内容を確認のうえ、協力できない場合は提出しなくてもいい旨を告知する。

無記名でも構わないができたなら記入して欲しい旨を説明する。

1.6.2. 調査票記入

担当医師は、説明時同意が得られた患者さんについて、調査票冊子を配布する。なお、冊子には「国民生活基礎調査健康票」、「HUI 日本語版質問」及び「EQ5D 日本語版質問」がセットとなっている。

1.6.3. データ回収

調査医療機関は、患者さんから調査票配布日から数えて次回の外来日に来院された時、調査票を回収する。個人情報なので管理は厳重に行い、内容の漏洩がないように徹底する。医療機関の担当医もできたら冊子内容を見ないことが望ましい。調査票等はプライバシーに関わる部分を保護し、回収期間の終了後、焼津医師会に移管し、その後調査事務局（慶応義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室；上村隆元）へ移管する。

一調査医療機関あたり200部の回収を目標とする。また、適宜回収の状況を調査医療機関と連絡を取り合う。

#### 1.6.4. 患者さんへの謝礼

調査事務局は、調査医療機関にあらかじめ配布数程度の謝品を委託し、調査票が提出された患者さんに対し、謝礼を配布する。

#### 1.6.5. 調査医療機関への謝礼

調査事務局は、調査医療機関および医師会の研究協力に対して「専門知識の供与」の名目より研究費から謝金を供出する。

#### 1.7. データ集計・解析

解析計画書に基づき、調査事務局（慶応義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室）において解析を行う。

#### 2. 予定症例数

調査依頼＝アンケート配布数；2000症例（各施設200症例）

調査医療機関＝約10

アンケート回収；1800症例（予定）

#### 3. 調査期間

第1回調査：2001年1月～2001年2月

（第2回調査：2002年1月～2002年2月）

なお、回収状況が予定に満たない場合は協議のうえ期間の延長等必要な措置をとる。

#### 4. 倫理

本調査は「ヘルシンキ宣言」（最新改訂版）の精神に基づいて実施する。

#### 5. 成果の報告および発表

調査事務局はデータの解析結果を考察の後焼津市医師会に報告する。調査対象患者および各調査医療機関のプライバシーは厳重に保護するものとし、調査の結果が何らかの不利益をもたらすと勘案される場合に関しては医師会事務長と厳重協議の結果、報告書にまとめるものとする。学会発表および論文文化に際してのAutherShipに関しては別途取り決める。

## 6. 実施体制

6.1. 調査研究責任者 慶応義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 上村隆元  
(平成10年～13年厚生科学研究事業主任研究者)

東京大学先端科学研究所 森口尚史

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科 佐藤千史

## 6.2. 解析アドバイザー

アルバータ大学薬剤経済学部

David Feeny

マクマスター大学医学部Center of pharmaco-economics and policy analysis

William Furlong

George Torrance

慶応義塾大学医学部医療政策・管理学教室

池田俊也

ハーバード大学医学部放射線科データグループ

Johanna L. Boush

## 6.3. 事務局

慶応義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室

担当者：上村隆元

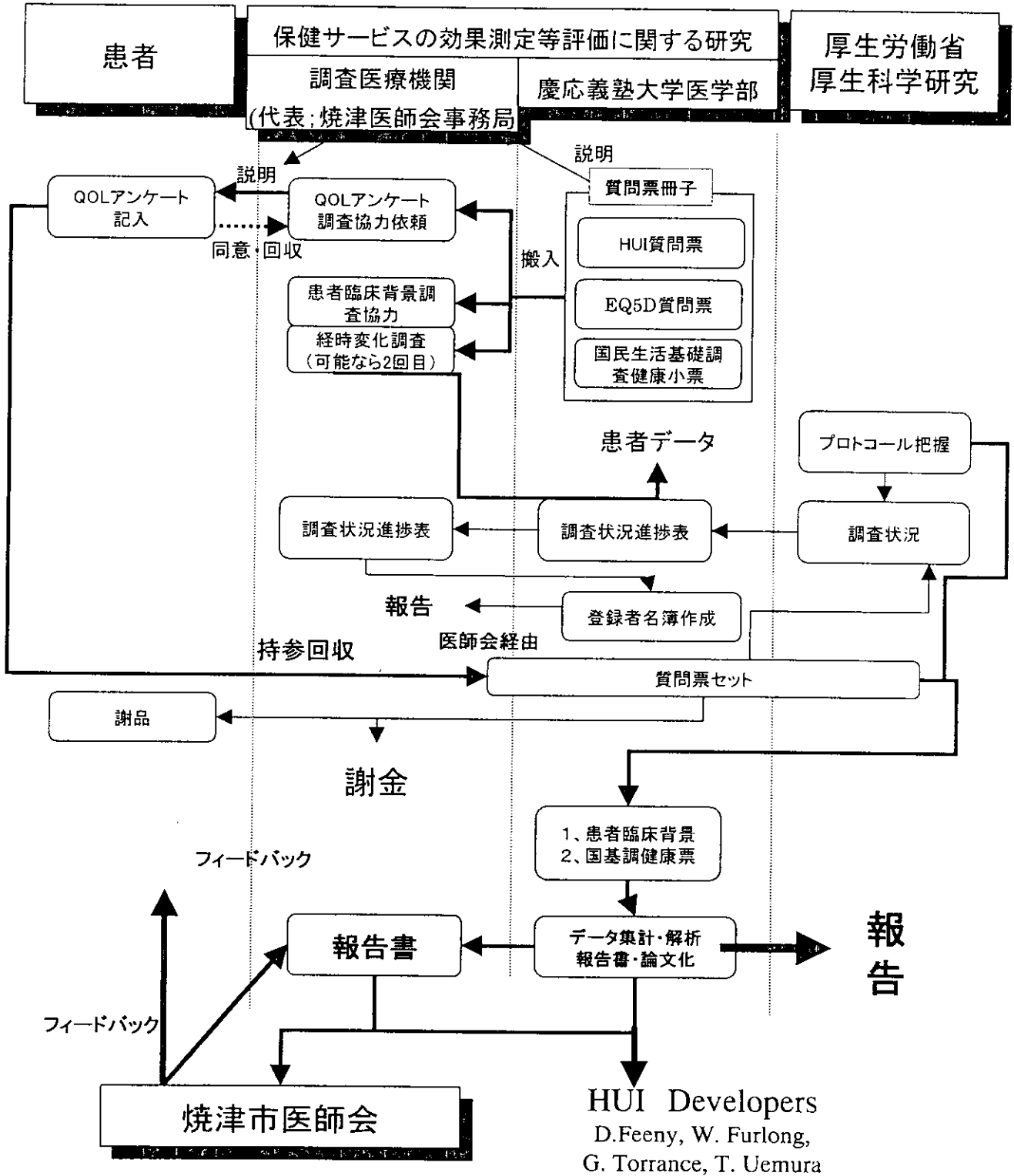
TEL：03-3353-1211 (62655) FAX：03-3359-3686

e-mail：takauem@med.keio.ac.jp



# 通院患者QOL調査研究フロー

(主任研究者 上村隆元)



# 健康アンケート協力患者様各位

## 冠略

このたび焼津市の通院患者さんを対象とした、自己チェック方式健康アンケート調査を行うこととなりました。

この調査は、全国で生活されている方々が、よりよき健やかな人生を過ごすため、どのような側面から“健康の程度”を評価したらよいのかという知見を得るために行われています。

調査は慶応義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室が行い、調査の結果は集計の後に焼津市医師会を通じてみなさまの通院中の医院にご報告申し上げます。

このような調査の場合、回答者の個人情報やプライバシーに関する問題が多く取り上げられますが、本調査においてはデータの管理は厳重に行い、個人のプライバシーが調査目的以外に漏れることのないように徹底的に管理を行います。

なお、この調査の主旨として、アンケートを依頼された皆様に対して**強制力を持つものではありません。**あくまでも皆様の自由な意思に従って回答は任意で行いますのでアンケート用紙の質問をご覧になって問題ないと感じられた方のみ、記入の後、通院中の医院にご持参くださるようお願い申し上げます。

また、年齢・性別は必ず御記入下さい。できる限り記名をお願いします。

記載内容に不安がある場合には、封入されるか、冊子の右端をホッチキス等で閉じて提出されるようお願い致します。

ご多忙中大変恐縮ですがよろしくお願い申し上げます。

慶応義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 上村隆元

草々

No \_\_\_\_\_

自己チェック方式  
健康アンケート

健康アンケート調査へのご協力をお願い。

このたび、この地域にお住まいの皆様の健康状態に関する調査をさせていただくことになりました。この調査は厚生省の厚生科学研究費補助金を受けて慶應義塾大学医学部が主体となり実施するものです。調査の結果は地域における健康づくり、健康増進に将来的に活用される予定です。

ご多忙中大変恐縮ですが、あなたの健康状態につき、質問にお答えいただきたくお願い申し上げます。

なお、調査結果は統計的に処理され、個人のお名前が特定されることはありません。また、皆様からの解答に関する個人のプライバシーは、万全の対策を期して保護することをお約束申し上げます。

御記入上の注意。

アンケート調査の質問は全部で17問あります。また問15と問16は、あなたのふだんの健康のさまざまな主観的な側面に対する質問集になっています。明らかに同じようなことを重複してお尋ねしているように感じられるかもしれませんが、それぞれについてひとつひとつご解答ください。

それぞれの質問を読んで、回答を慎重に考えてください。各質問に対してあらかじめ設けられた答えのうち、あなたにあてはまるものを選択して各質問で指定された方法（先頭の文字に○をつけるか、□にチェックする）に従い回答してください。

回答には正しい答えとか間違った答えというものはありません。この調査でお尋ねしたいのはあなた自身の健康に関する状態や日常生活能力をあなた自身がどのように感じているかについてのご意見なのです。

なおこのアンケートにつきましてご不明な点・ご質問がございましたら、以下にお願い致します。

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室

担当：上村隆元

Tel03-3353-1211（内線 62655） Fax03-3359-3686 [takauem@med.keio.ac.jp](mailto:takauem@med.keio.ac.jp)

問 15：HUIMark23SU15Q 日本語版質問票 禁無許可複製

Copy right Feeny, Furlong, and Torrance 1997.

問 16：EQ-5D 日本語版質問票 禁無許可複製

問1 あなたはここ数日、病気やけが等で体の具合の悪いところ（自覚症状）がありますか？

- 1 ある                    2 ない → 次の頁の「問4」にお答え下さい。



問2 それは、どのような症状ですか？ 次の中であてはまる症状の番号すべてに○をつけて下さい。また、その中で最も気になる症状の番号にひとつだけ◎をつけて下さい。

- |                |                              |
|----------------|------------------------------|
| 01 熱がある        | 22 腹痛・胃痛                     |
| 02 体がだるい       | 23 痔による痛み・出血など               |
| 03 眠れない        | 24 歯が痛い                      |
| 04 いらいらしやすすい   | 25 歯ぐきのはれ・出血                 |
| 05 もの忘れする      | 26 かみにくい                     |
| 06 頭痛          | 27 発疹（じんま疹・できものなど）           |
| 07 めまい         | 28 かゆみ（湿疹・水虫など）              |
| 08 目のかすみ       | 29 肩こり                       |
| 09 物を見づらい      | 30 腰痛                        |
| 10 耳鳴りがする      | 31 手足の関節が痛む                  |
| 11 聞こえにくい      | 32 手足の動きが悪い                  |
| 12 動悸（どうき）     | 33 手足のしびれ                    |
| 13 息切れ         | 34 手足が冷える                    |
| 14 前胸部に痛みがある   | 35 足のむくみやだるさ                 |
| 15 せきやたんが出る    | 36 尿が出にくい・排尿時痛い              |
| 16 鼻がつまる・鼻汁が出る | 37 頻尿（尿の出る回が多い）              |
| 17 ゼイゼイする      | 38 尿失禁（尿がもれる）                |
| 18 胃のもたれ・むねやけ  | 39 月経不順・月経痛                  |
| 19 下痢          | 40 骨折・ねんざ・脱きゅう               |
| 20 便秘          | 41 切り傷・やけどなどのけが              |
| 21 食欲不振        | 42 その他（                    ） |

問3 「問2」で◎および○をつけた症状に対して、なんらかの治療をしていますか？ あてはまるものに○を付けて下さい。

◎の症状    ○の症状

- |       |       |                                   |
|-------|-------|-----------------------------------|
| ..... | ..... | 1 病院・診療所・老人保健施設に通っている（往診、訪問診療を含む） |
| ..... | ..... | 2 あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施設所）にかかっている    |
| ..... | ..... | 3 売薬をのんだり、つけたりしている                |
| ..... | ..... | 4 それ以外の治療をしている                    |
| ..... | ..... | 5 治療はしていない                        |

問4 あなたは現在、病院や診療所等に通っていますか。(往診を含む。)

- 1 はい                    2 いいえ                    → 次のページの「問7」にお答え下さい。



問5 そこへは、どのような傷病(病気やけが)として通っていますか? 次の中であてはまる傷病の番号すべてに○をつけて下さい。また、その中で最も気になる傷病の番号にひとつだけ◎をつけて下さい。

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 01 糖尿病               | 25 その他の消化器系の病気        |
| 02 肥満症               | 26 ムシ歯                |
| 03 高脂血症(高コレステロール血症等) | 27 歯肉炎・歯周疾患           |
| 04 甲状腺の病気            | 28 アトピー性皮膚炎           |
| 05 痴呆                | 29 接触皮膚炎(かぶれ)         |
| 06 精神病(躁うつ病・分裂病等)    | 30 じんま疹               |
| 07 神経症               | 31 脱毛症                |
| 08 自律神経失調症           | 32 痛風                 |
| 09 白内障               | 33 慢性関節リウマチ           |
| 10 網膜の病気(網膜はく離等)     | 34 関節症                |
| 11 中耳炎               | 35 肩こり症               |
| 12 難聴                | 36 腰痛症                |
| 13 高血圧症              | 37 骨粗しょう症             |
| 14 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)     | 38 腎臓の病気              |
| 15 狭心症・心筋梗塞          | 39 前立腺肥大症             |
| 16 その他の循環系の病気        | 40 閉経期又は閉経後障害(更年期障害等) |
| 17 急性鼻咽頭炎(かぜ)        | 41 骨折                 |
| 18 アレルギー性鼻炎          | 42 骨折以外のけが・やけど        |
| 19 喘息                | 43 貧血・血液の病気           |
| 20 その他の呼吸器系の病気       | 44 悪性新生物(がん)          |
| 21 胃炎・十二指腸炎          | 45 妊娠・産褥              |
| 22 胃・十二指腸かいよう        | 46 その他( )             |
| 23 肝炎・肝硬変            | 47 不明                 |
| 24 胆石症・胆のう炎          |                       |

問6 「問5」で◎および○をつけた傷病で、現在通っている病院や診療所等はそれぞれ何カ所ありますか? 往診の場合は、その医師のいるところをお答え下さい。

- |                         | ◎の傷病    | ○の傷病    |
|-------------------------|---------|---------|
| 1 診療所(職場、学校の中にある診療所を含む) | .....カ所 | .....カ所 |
| 2 大学(付属)病院              | .....カ所 | .....カ所 |
| 3 総合病院や大きな病院            | .....カ所 | .....カ所 |
| 4 その他の病院                | .....カ所 | .....カ所 |
| 5 老人保健施設                | .....カ所 | .....カ所 |
| 6 あんま・はり・きゅう・柔道整復師(施術所) | .....カ所 | .....カ所 |

問7 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか？

- 1 ある                    2 ない

↳ あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- 1 日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など）
- 2 外出（時間や作業量などが制限される）
- 3 仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）
- 4 運動（スポーツを含む）
- 5 その他

問8 ここ1ヶ月間に、健康上の問題で一日中床についた日数はどのくらいありましたか？ あてはまるものに○をつけて下さい。

- 1 ない                    2 1～3日                    3 4～6日                    4 7～14日                    5 15日以上

問9 あなたは過去1年間に、健康診断（定期健康診断や住民検診等）や人間ドックを受けたことがありますか？

- 1 ある                    2 ない

問10 あなたは日ごろ、健康のために次のような事柄を実行していますか？ あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

- 実行している {
- 1 規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている
  - 2 バランスのとれた食事をしている
  - 3 うす味のもの食べている
  - 4 食べ過ぎないようにしている
  - 5 適度に運動（スポーツを含む）をするか身体を動かしている
  - 6 睡眠を十分にとっている
  - 7 たばこを吸わない
  - 8 お酒を飲み過ぎないようにしている
  - 9 1～8については実行していない

問11 あなたは現在、日常生活で悩みやストレスがありますか？

- 1 ある                    2 ない                    → 「問13」にお答え下さい。



問12 それは、どのような原因ですか？ あてはまる原因の番号すべてに○をつけて下さい。また、その中でも最も気になる原因の番号にひとつだけ◎をつけて下さい。

- |                |                                |
|----------------|--------------------------------|
| 01 家族との人間関係    | 14 育児                          |
| 02 家族以外との人間関係  | 15 仕事中的子どもの世話                  |
| 03 話し相手がいない    | 16 子どもの教育                      |
| 04 生きがいに関する事   | 17 家事                          |
| 05 自由にできる時間がない | 18 仕事に関する事                     |
| 06 将来・老後の収入    | 19 自分の学業・受験・進学                 |
| 07 自分の老後の介護    | 20 収入・家計・借金                    |
| 08 自分の健康・病気    | 21 身近な人の死                      |
| 09 同居家族の健康・病気  | 22 住まいや生活環境<br>(公害・騒音・交通事情を含む) |
| 10 別居家族の健康・病気  | 23 通勤・通学 (混雑・時間がかかる等)          |
| 11 同居家族の介護     | 24 その他                         |
| 12 別居家族の介護     | 25 わからない                       |
| 13 妊娠・出産       |                                |

問13 あなたはたばこを吸いますか？

- 1 現在吸っている

↳ 1日平均して何本たばこを吸いますか？ .....本  
毎日吸うようになったのは何歳からですか？ .....歳

- 2 以前吸っていた (たばこをやめて.....年)

↳ 1日平均して何本たばこを吸いますか？ .....本  
毎日吸うようになったのは何歳からですか？ .....歳

- 3 吸わない

問14 あなたはお酒 (アルコール) を飲みますか？

- 1 飲む

↳ 飲み始めたのは何歳からですか？ .....歳

どのくらい飲みますか？

- 1 ほとんど毎日 (週5日以上)  
2 週3~4日  
3 週1~2日  
4 週1日以下

- 2 以前は飲んだがやめている

- 3 飲まない



問 15 はあなたの健康のさまざまな面に関してお尋ねする質問集になっています。これらの質問にお答えになる際には、あなたのふだんの健康状態と、日常生活に基づいてあなたがものごとをこなす能力についてお考え下さい。また、これらの質問は、風邪やインフルエンザのような短期間影響を与えるだけで多少期間が過ぎれば完全に回復するような病気の影響に関するものではありません。どうぞお答えは、ふだんの生活において、あなたのできる事やできない事、そしてふだんどのように感じているかを中心としてお答え下さい。

問15

1. ふだんあなたが新聞の文字を判別する能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。
  - a. 眼鏡やコンタクトレンズなしでも充分に見える。
  - b. 眼鏡やコンタクトレンズがあれば充分に見える。
  - c. 眼鏡やコンタクトレンズがあっても充分に見ることができない。
  - d. まったく見えない。
  
2. ふだんあなたが、通りの反対側にいる人を見て友達を見分ける能力は、以下に述べるものうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。
  - a. 眼鏡やコンタクトレンズなしでも充分に見分けられる。
  - b. 眼鏡やコンタクトレンズがあれば充分に見分けられる。
  - c. 眼鏡やコンタクトレンズがあっても充分に見分けられない。
  - d. まったく見分けられない。
  
3. ふだんあなたが、3人以上の人達との会話内容を聞きとる能力は、以下に述べるものうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。
  - a. 補聴器なしでも会話内容を聞きとれる。
  - b. 補聴器があれば会話内容を聞きとれる。
  - c. 補聴器があっても会話内容を聞きとることができない。
  - d. 会話内容を聞きとれない、しかし補聴器もつけていない。
  - e. まったく聞こえない。
  
4. ふだんあなたが、静かな部屋の中で相手の話す内容を聞きとる能力は、以下に述べるものうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。
  - a. 補聴器なしでも会話内容を聞きとれる。
  - b. 補聴器があれば会話内容を聞きとれる。
  - c. 補聴器があっても会話内容を聞きとることができない。
  - d. 会話内容を聞きとれない、しかし補聴器もつけていない。
  - e. まったく聞こえない。

5. ふだんあなたが、知らない人と言葉を交わし、話した言葉を理解してもらう場合、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。
- a. 完全に言葉を理解してもらえる。
  - b. 部分的には言葉を理解してもらえる。
  - c. 言葉を理解してもらえない。
  - d. まったく言葉をしゃべることができない。
6. ふだんあなたが、あなたのことをよく知っている人と言葉を交わし、自分の話した言葉を理解してもらう場合、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。
- a. 完全に言葉を理解してもらえる。
  - b. 部分的には言葉を理解してもらえる。
  - c. 言葉を理解してもらえない。
  - d. まったく言葉をしゃべることができない。
7. ふだんのあなたの感情は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。
- a. 幸せで、生きているのが楽しい。
  - b. いくらか幸せ。
  - c. いくらか不幸。
  - d. とても不幸。
  - e. 不幸すぎて生きている意味を失っている。
8. ふだんのあなたの痛みや不快感の程度は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。
- a. 痛みや不快感がまったくない。
  - b. 軽度から中程度の痛みや不快感があるが、活動は妨げられない。
  - c. 中程度の痛みや不快感があり、活動がわずかに妨げられる。
  - d. 中程度から強度の痛みや不快感があり、活動がいくらか妨げられる。
  - e. 激しい痛みや不快感があり、ほとんどの活動が妨げられる。

9. ふだんあなたの歩行能力は、以下に述べるもののうちどれが一番あてはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

(注：歩行器具とは、添え木、杖、松葉杖、歩行器などの補助用具を指します。)

- a. 歩行器具なしに難なく近所を歩き回る事ができる。
- b. 近所を歩きまわるのは難かしいが、歩行器具や人の介助を必要とするほどではない。
- c. 歩行器具を必要とするが、他人の介助なしに近所を歩き回る事ができる。
- d. ほんの短い距離であれば歩行器具を使って歩く事ができ、かつ車椅子なら近所にでかけることができる。
- e. 歩行器具を用いても一人では歩けない。少し歩くのにもだれかの介助が必要で、近所にでかけるには車椅子が必要である。
- f. まったく歩けない。

10. ふだんあなたの手や指を動かす能力は、以下に述べるもののうちどれが一番あてはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

(注：特別な道具とは、手や指の不自由を補うための道具、例えば衣服のボタンを掛けやすく工夫した道具とか、特殊な形をしたスプーンやフォークなどの食器、小物をつかむ器具などを指します。)

- a. 両手と十本の指を完全に使いこなせる。
- b. 手や指の不自由はあるが、特別な道具や人の介助を必要としない。
- c. 手や指の不自由はあるが、特別な道具を使えば人の介助を要しない。
- d. 手や指の不自由があり、特別な道具を用いても人の介助を必要とすることがある。
- e. 手や指の不自由があり、特別な道具を用いてもほとんどの場合、人の介助が必要である。
- f. 手や指が不自由で、(特別な道具を用いても) 何をするにも人の介助を必要とする。

11. ふだんあなたの記憶力は、以下に述べるもののうちどれが一番あてはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

- a. ほとんどの事を思い出す事ができる。
- b. いくらか忘れっぽい。
- c. とても忘れっぽい。
- d. まったく何も思い出す事ができない。

12. ふだんあなたが毎日の問題ごとを考えたり解決していく能力は、以下に述べるもののうちどれが一番あてはまりますか？ ひとつ選んで下さい。

- a. 毎日の問題をはっきりと考え解決することができる。
- b. 毎日の問題を考え解決するには、わずかに困難がある。
- c. 毎日の問題を考え解決するには、多少困難がある。
- d. 毎日の問題を考え解決するには、相当困難がある。
- e. 毎日の問題を考え解決する能力がまったくない。

13. ふだんあなたが身の回りのことをする能力は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。
- a. 食事、入浴、着替え、トイレのすべてが普通どおり問題なくできる。
  - b. 困難はあるが食事、入浴、着替え、トイレのすべてが自分でできる。
  - c. 食事、入浴、着替え、トイレのうちいずれかに補助器具を必要とするが自分でできる。
  - d. 食事、入浴、着替え、トイレのいずれかに人の介助を必要とする。
14. ふだんのあなたの感情は、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。
- a. だいたい幸せで、取りたてて心配事がない。
  - b. ときどきいらだったり、怒ったり、しゃくにさわったり、不安になったり落ち込んだりする。
  - c. しばしばいらだったり、怒ったり、しゃくにさわったり、不安になったり落ち込んだりする。
  - d. ほとんどいつもいらだったり、怒ったり、しゃくにさわったり、不安になったり落ち込んだりしている。
  - e. 極度にいらだったり、怒ったり、しゃくにさわったり、不安になったり落ち込んだりして、カウンセリングを受けたり精神安定剤の助けが必要となるほどである。
15. ふだんあなたの痛みや不快感の程度に関し、以下に述べるもののうちどれが一番当てはまりますか？ ひとつ選んで下さい。
- a. 痛みや不快感がまったくない。
  - b. ときどき痛みがある。不快感は市販薬または自己管理によってやわらげられ、ふだんの活動のじゃまにはならない。
  - c. しばしば痛みがある。不快感によりふだんの活動が妨げられることもあるが、飲み薬によってやわらげられる。
  - d. しばしば痛みがある。普通の活動がしばしば妨げられ、やわらげるためには麻酔薬などの処方が必要とする。
  - e. ひどい痛みがある。痛みはどんな治療でもやわらげられず、常に普通の活動が妨げられる。
16. 全体的にみてあなたのふだんの健康状態はどのくらいに評価できますか？
- a. 秀でている。
  - b. とてもよい。
  - c. よい。
  - d. あまりよくない。
  - e. 非常に悪い。